

平成17年7月29日(金)

岐阜県 地域政策室 万博連携グループ  
科学技術振興センター  
新産業労働局先端技術推進チーム

## 愛・地球博「中部千年共生村」(中部9県共同パビリオン)における 岐阜県ワークショップ『最新ロボットと遊ぼう!』の開催について

標記の件について、以下のとおり開催いたします。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

1. 日時 平成17年8月5日(金)～9日(火)  
1日4回10分～15分間程度のデモンストレーションを実施  
( 11:00～、 13:00～、 15:00～、 17:00～ )
2. 場所 愛・地球博 長久手会場 日本ゾーン  
「中部千年共生村」パビリオン ワークショップ・スペース
3. 主催等 <主催> 岐阜県  
<協力> (社)岐阜県工業会 / 早稲田大学 WABOT-HOUSE 研究所
4. 内容等  
岐阜県では、ロボット技術をキーテクノロジーとした産業振興策「ギフ・ロボット・プロジェクト21(GRP21)」を推進しています。GRP21の中心的ロボット「ながら-3」や岐阜県と早稲田大学が協働して進めるWABOT-HOUSE(ワボット・ハウス)プロジェクトで生み出された「ROBISUKE(ロビスケ)」、「WAMOEBE(ワメーバ)3」によるデモンストレーション(含む来場者とのコミュニケーション)の展開を通して、岐阜県のロボット・プロジェクトへの挑戦を紹介します。

## (1) 登場ロボットの紹介

### ながらー3

県内企業と岐阜県が協力して開発したヒューマノイド・ロボット  
 身長：約110 cm / 体重：約25 kg /  
 関節：29自由度  
 機能：2足歩行、画像認識、音声発話が可能  
 特徴 親しみやすいデザイン  
 （丸みのあるボディ、感情を感じさせる電飾 等）  
 ボールを使用したパフォーマンス（キック 等）  
 名称「ながら」は岐阜を代表する清流「長良川」にちなんで命名。平成12年より2足歩行ロボット試作プロジェクト開始。これまでに「ながら-1」、「ながら-2」を開発。「ながら-3」は（NEEDOの「次世代ロボット実用化プロジェクト(プロトタイプ開発支援事業)」の採択を受けて開発。



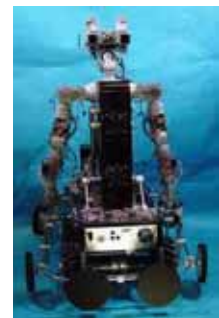
### ROBISUKE (ロビスケ)

音声対話ロボット  
 身長：約100 cm / 体重：約40 kg /  
 関節：23自由度  
 機能：音声認識、視線や腕の動きを使った表情豊かな会話が可能。  
 得意なこと  
 人の言葉を理解して、会話をすることができます。ロビスケが喋っていることに疑問を感じたときに、「え？」などと聞き返すことによって、分かり易く言い直してくれます。  
 将来は、顔の表情などの理解機能を組み込み、より自然な会話ができるようになる予定です。



### WAMOEB A (ワメーバ) 3

情緒交流ロボット WAMOEB A  
 (ワメーバ, 早稲田のアメーバ, Waseda Artificial Mind  
 On Emotion Base)  
 高さ：約130 cm / 重さ：約130 kg  
 機能：ワメーバは人間とロボットとの感情のコミュニケーションを研究するためのロボットです。  
 ワメーバは、設計者の意図的な作りこみ（プログラム）に基づき行動するのではなく、その状態（環境）に応じて自身で判断・行動し、感情表現を行うロボットです。接触センサや超音波センサ、カメラの画像や音声によって、さまざまな反応をします。



(2) 予定デモ内容

「ながら - 3」によるデモ < 11:00 ~、 15:00 ~ >

ロボット2体によるパフォーマンス

歌の披露、ボールのキック、来場者の顔や動きを認識

「ROBISUKE (ロビスケ)」によるデモ < 13:00 ~、 17:00 ~ >

司会者や来場者との会話パフォーマンス

「WAMOEBE (ワメーバ) 3」によるデモ < 13:00 ~、 17:00 ~ >

司会者や来場者との触れ合い (声かけやタッチなど) を通して、さまざまな行動をします

\* 各回デモ終了後に、ロボットとの記念撮影タイムを設定します。

(先着 10 組程度予定)

【参考】

「ギフ・ロボット・プロジェクト 2 1」について

ギフ・ロボット・ポータル <http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/s80505/grp/> 参照

「WABOT-HOUSE プロジェクト」について

早稲田大学 WABOT-HOUSE 研究所 <http://www.wabot-house.waseda.ac.jp/> 参照

5 . その他 (参考紹介)

岐阜県では、「中部千年共生村」パビリオンにおいて、「千年の共生～人・自然環境とロボット」をテーマに、映像及びロボット実物の常設展示により岐阜県のロボット・プロジェクトへの挑戦を紹介しています。

ロボット実物展示については、2足歩行ロボット「ながら」と森林作業支援ロボット「WOODY 1」に加えて、愛・地球博入場券 (IC チップ入り) に反応して岐阜の観光などのお話をする「案内ロボット」も出展し、来場者の好評を博しています。ご来場の際には、ぜひ体験してみてください。



< 中部千年共生村における案内ロボット >



< 案内画像のサンプル >